



Vol.102

2014年 3月号

ぐらぶあ

ふみだそう、福祉でまちづくり

出発進行『すまいる号』!!

宮川地区社会福祉協議会は「メリーパーク運営協議会」の協力により、地域に住む“買い物弱者”を支援するため、**2路線各週1回の無料送迎バス『すまいる号』の運行を始めました。**

私たちは、買い物に行くのに困るお年寄りが『すまいる号』を通して、人と出会い、沢山おしゃべりをする事で、気持ちがリフレッシュし、一日でも長く自立した日々が送れ、買い物に出かけられる喜びで笑顔あふれる宮川(まち)であれば…と願っています。

今後も“支え合いのまちづくり”を展開していきたいと思っています。

宮川地区社会福祉協議会 会長 篠原郁子 さん



『すまいる号』がメリーパークに到着する月曜日と火曜日は、お客様のいきいきとした喜ぶ顔をたくさん見ることができます。開店当初は、自家用車でご来店いただいていたお客様も高齢になり、「運転することも買い物に行くことも難しくなった」というお話を聞いていました。そんな中で、このお買物バスは待ちに待った取り組みだと感じています。

これからは、継続した運行をどのようにしたら良いかが課題ですが、笑顔の弾む店舗を目指していきたいと思っています。 メリーパーク 代表 杉本浩美 さん



宮川地区社会福祉協議会では、地域で困っていること、困っている人がいるならば“一歩前に出てアクションを起こすこと”が会の役割と考えています。

3年前、宮川地区内の15の行政区に出向き住民の方々にご意見を伺う中で、買い物・温泉・病院に行く足が困るとの声が多くありました。そこで、民生児童委員の皆さんに協力を仰ぎ、高齢者の方々へのアンケートを取ったところ、中でも買い物の足に困るという意見が多くありました。

そこで、宮川地区内の全商店に声を掛け集まっていただき、住民の声やアンケート結果を説明させていただいたところ、ケーヨーD2さん、メリーパーク各店舗、アップルランドデリシアさんが30周年の節目で、「地域に恩返しする気持ちでやってみましょう」と手を挙げてくださいました。そして、何度も話し合いを重ねた結果、1月20日に『お買い送迎無料バスすまいる号』の運行開始の運びとなりました。

各地区で課題となることは様々だと思いますが、住民の声を聴きひろいあげ、行動に移す取り組みが、茅野市全域に広がればと思っています。

宮川地区社会福祉協議会

「福祉推進委員研修会」

さまざまな意見や価値観を共有しよう

2月8日(土)茅野市役所大ホールにて「福祉推進委員研修会」が開催され、大雪の中にもかかわらず、100名を超える方々にご参加いただきました。

これまで社協では、福祉推進委員を中心に地域の福祉や生活の課題を話し合う機会を持っていたきたいと研修会を通じお伝えしてきましたが、「話し合うきっかけが持てない」「何を話したらよいか解らない」という声が寄せられていました。

例年は講演会やシンポジウムを中心とした研修会でしたが、みんなが楽しく、新たな考え方を発見できる、そして様々な視点に立って考えることの大切さを学ぶため、今年は「クロスロード」という手法を取り入れ、体験していただきました。

参加者からは、「初対面の方ともすぐに打ち解けて、楽しく話し合うことができた」「自分達の地区でもクロスロードで、話し合う機会を持ちたい」「地域によっていろいろな考えがあることを感じることもできた」と、感想が聞かれました。



研修会ではこんな意見が出されました

問 題

同じ隣組で、ある日、近所の独居（独り暮らし）の方の家の前を通ると郵便受けに新聞が何日分もたまっていました。夜になっても電気がつかないので、心配になりました。あなたはその方の様子をお隣の方に聞きますか？

YES：聞く NO：聞かない

『クロスロード』とは…

トランプ大のカードを利用した手軽なグループゲームながら、参加者は、設問を自らの問題として積極的に考えることができ、かつ、自分とは異なる意見・価値観の存在への気づきも得られます。

理由と問題点

◎ YES(聞く) を選んだ理由

- ・高齢者なら心配で隣人は何か聞いている。
- ・自分の区には顔見知りしかいない。(自分の) 心配する気持ちを解決するために聞く。
- ・自分は区役なので近隣に気を使っている。なので、お隣に聞いてみる。

◎ YESの問題点

- ・古い区なので顔見知りばかりだが、アパートなら付き合いも無く干渉しあわない。
- ・中には騒いで欲しくない人もいる。
- ・日中不在なので近所の様子で変だなと気づくことは難しい。

◎ NO(聞かない) を選んだ理由

- ・お隣は何か聞いて知っているだろうから、自分がわざわざ聞く必要はない。

◎ NOの問題点

- ・実例があった。新聞が溜まっていて心配したら、実際には引っ越していた。必ず何か理由があるはず。
- ・近所づきあいを避けている人も中にはいる。

◎ 事前に備えておけること

- ・互いに安否確認など協力できる体制作り。 ・個人情報の問題があるので、知らないことも多い。
- ・近所で普段から声を掛け合う。日頃からの付き合いを大切にしておく。 ・回覧板を回す時に気づく。



今回の研修会では、「さまざまな意見や価値観を参加者同士が共有」することを体験していただきました。

地域の課題を解決するには、“それぞれが感じている地域の課題や暮らしの困りごとなどを出し合い、少しずつみんなで解決していくこと”つまり“みんなで話し合い、みんなで解決していくこと”が大切です。

みんなで意見を出し合う手段として、ぜひ地域の話し合いの場に「クロスロード」をご活用ください。

詳細は、社協の地域生活支援係までお問い合わせください。

平成25年度 赤い羽根共同募金 のご報告



総額は 9,446,597円 でした。
ご協力ありがとうございました。

皆様からご寄付いただいた募金は、3,600,000円が県内の福祉施設などに配分され、残りの5,846,597円が茅野市へ配分されます。市内では各地区の地区社会福祉協議会の活動をはじめ、市内のボランティアグループの活動など地域の福祉活動に使われます。

各地区の戸別募金

ちの	1,450,216円
宮川	1,178,782円
米沢	412,450円
豊平	759,543円
玉川	1,503,056円
泉野	295,286円
金沢	437,106円
湖東	415,418円
北山	478,721円
中大塩	264,000円

学校の募金

永明小学校	10,030円
宮川小学校	14,910円
米沢小学校	4,887円
豊平小学校	23,231円
玉川小学校	9,931円
泉野小学校	3,883円
金沢小学校	4,343円
北山小学校	4,850円
永明中学校	4,315円
長峰中学校	6,602円

その他の募金

ちの地区高齢者クラブ	132,477円
宮川地区高齢者クラブ	178,208円
玉川地区高齢者クラブ	122,320円
泉野地区高齢者クラブ	33,843円
金沢地区高齢者クラブ	44,590円
北山地区高齢者クラブ	53,288円
中大塩地区高齢者クラブ	17,000円

縞枯山荘	24,114円
ボーイスカウト茅野第一団	25,000円
街頭募金	17,590円
その他	10,607円

各地区の法人募金

宮川	462,000円
米沢	156,500円
豊平	272,000円
泉野	89,000円
金沢	197,000円
湖東	329,500円



三月は卒園卒業、四月は入園入学で「おめでとうございます」「ありがとうございます」と笑顔での挨拶の時期。言葉は自分を表現するのにとっても大切です。

ちよつとした言葉のやりとりで、お互いに気まづくもなります。北原白秋の詩に「ひとつのことば」があります。

ひとつのことばで けんかして
ひとつのことばで なかなあり
ひとつのことばで 頭が下がり
ひとつのことばで 心が痛む
ひとつのことばで 楽しく笑い
ひとつのことばで 泣かされる
ひとつのことばは それぞれに
ひとつの心を持っている
きれいなことばは きれいな心
やさしいことばは やさしい心
ひとつのことばを大切に
ひとつのことばを美しく

日頃、なにげなくしゃべっている自分の言葉は、相手を思いやっているか、相手を傷つけていないか自己反省。これからは言葉の使い方、心の持ち方は謙虚を心がけたい。



お年玉クイズの答え

Q1

災害発生時に、障害のある方の避難を円滑に行うために着用するベストは？

答え **A ビブス**

ビブスは、障害のある方が、それぞれの障害についての情報が書き込まれている災害時に着用するベストです。

例えば、聴覚障害のある方の場合「聞こえません」の文字がビブスに入ること、災害時の避難がより円滑になります。



Q3

車イスのまま乗り降りできる自動車で、通院などの送迎をしているのは？

答え **B 移送サービス**

市内在住で、身体が不自由なため、一般の交通機関を利用して外出することが困難な方を対象に行っています。

Q5

「ボランティアをしたいな…」と思った時に社協の中で相談するところでは？

答え **C ボランティア・市民活動センター**

ボランティア活動についての相談の他、活動を支援したり、新しい活動を生みだしたり、住民が共に支え合い、地域に住むすべての人が心豊かに暮らすことができるまちづくりを目指します。

Q7

茅野市にはいくつの地区社会福祉協議会（地区社協）があるでしょう。

答え **B 10**

市内10地区（ちの、宮川、米沢、豊平、玉川、泉野、金沢、湖東、北山、中大塩）にそれぞれ地区社会福祉協議会がおかれ、各地区の住民自身による福祉活動を推進しています。

Q2

昼食のお弁当を、対象者に365日自宅まで届けるサービスは？

答え **B おたっしゃ弁当**

茅野市社会福祉協議会では、「配食サービス」事業を茅野市から受託し、昼食を市全域に365日ご希望の日にご自宅までお届けしています。

Q4

お互いさまの気持ちから生まれた住民参加型のサービスは？

答え **A シャララぽっとサービス**

日常生活の中で、困ったことが起きた時「住民同士がお互いさまの気持ちでお手伝いでき、利用できたら…」という願いから生まれた住民参加型の有償サービスです。

Q6

茅野市社協には4つの相談窓口があります。心配ごと相談、司法書士の法律相談、あなたと家族の悩み相談とあと1つは？

答え **A 結婚相談**

ご自分の「魅力」を発見していただきながら、「素晴らしい出会い」を結婚相談員が親身になってお手伝いします。

※サービスの詳しい内容、事業に対するお問い合わせは、茅野市社会福祉協議会（TEL 73-4431）までお願いいたします

今回は
クイズ

幸子ちゃんはおじいさんとおばあさんから500円ずつもらい、どんど焼きのやくなげで300円ひろいました。全部でいくら？ A・B・Cから選んでね。



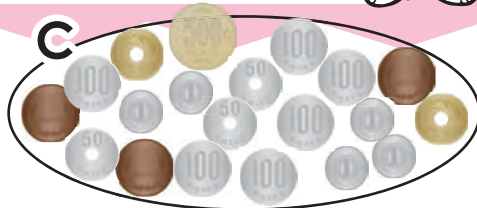
A



B



C



応募要領

クイズの答え、住所、氏名、年齢（年代）電話番号に社協へのご意見、ご要望、やらざあの感想、つばやきなど一言添えて社協までお送りください。正解者の中から抽選で3名の方に図書カードを差し上げます

応募締め切り

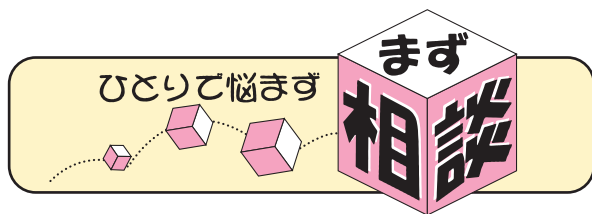
3月末日

お年玉クイズ当選者

宮坂 明梨さん(玉川)

小尾 綾乃さん(豊平)

北原 文香さん(金沢)



人生には様々な悩みがあります。だれにも相談できない、どこに相談したらよいかわからない。そんなときは、まず社協にお電話ください。

心配ごと相談

どんなことでもご相談ください
(第3金曜日は年金相談もできます。)

毎週金曜日 午前9時～正午

相談員：心配ごと相談員

心の悩み相談には、事前の予約が必要です。

(精神保健福祉士が対応)

結婚相談

結婚を望まれる方の相談窓口

毎月第1・3土曜日

午後1時～午後4時

第2・4金曜日

午後6時30分～午後8時30分

相談員：結婚相談員

司法書士の法律相談(予約制)

身近な法律に関する相談

毎月第2水曜日 午後3時～午後5時

相談員：司法書士 予約電話／73-4431

あなたと家族の悩み相談 ～家族のサポートライン～

ご家族を亡くされた方、病気に直面されている方
ご相談ください

毎月第1月曜日 午後2時～午後4時

相談員：ボランティア

直通電話／82-0400

福祉やボランティアの相談

月曜日～金曜日 午前8時30分～午後5時30分

電話／73-4431 FAX／73-8030

相談は、総合福祉センター3階の相談室
または1階の社協事務所までお越しください

社協情報紙 **やらざあ** Vol.102
2014年 3月号

2014年3月1日

発行／社会福祉法人 茅野市社会福祉協議会

編集／やらざあ編集委員会

〒391-0002 茅野市塚原2-5-45

TEL (0266) 73-4431

FAX (0266) 73-8030

URL: <http://sharara.or.jp>

E-mail: support@sharara.or.jp

読者の声

編…編集委員より

私は今まで、社協の存在を知りませんでした。

しかし、「広報ちの」のこの企画で初めて知り、インターネットで調べてみると、色々なことをやっていて、私たちも気軽に利用できるのだなあと思いました。わたしもこれからもっと社会福祉に興味を持って、たくさん活動に参加したいと思いました!!!
(玉川 20代 女性)

編 インターネットで調べたり、社協に興味を持っていただいたり…、そのきっかけに「やらざあ」がなかったとしたら嬉しいです。

いつもはあまり社協について考えたことが無かったけれど、色々、見えないところで活躍されていて、あらためておどろきと勉強になりました。
(ちの 10代 女性)

編 これからも、社協についてわかりやすい紙面をつくっていきます。また、読んでネ。

社協クイズ、家族でやってみました。活動内容を改めて知ることが出来て良かったです。地域での活動されている方々がいることも知りました。情報紙、楽しみにしています。

(金沢 50代 女性)

編 家族でやっていただいてありがとうございます!また、知恵をしゃべって、クイズを考えなくては…

祖母の介護保険の事で、社協のケアマネさんにいつもお世話になっております。

“やらざあ”いつも楽しみに読んでおります。

(豊平 60代 女性)

編 社協には「介護」について知恵や情報がたくさんあります、こちらもご利用ください。

ボランティアの人がもっとふえて、もっといい市(やさしい市)にしたいです。

ミニマンガがあったら、子供もみれて、おもしろいと思います。寒くて学校に行くのもつらい…
(玉川 9才 男性)

編 ご提案ありがとうございます。「ミニマンガ」描いてくれたらうれしいです。ぜひ、投稿してネ。

金田和尚のつぶやき、まったくその通りですね。良い年であってほしいですね。そこで私も一章の俚謡を作りました。

“馬よ走れよ希望を胸に 福は幸福 桜咲く!”

(湖東 60代 女性)

編 この俚謡のように、みなさんに幸福が訪れますように。

金田和尚のファンです! 毎回楽しみにしています!

(豊平 20代 女性)

編 金田和尚、今年も元気に頑張りますよ!!

社協情報紙 **やらざあ** の発行にはみなさんの会費が使われています。